

様式第1 (第3条関係)

※受理年月日	年 月 日
※受理番号	
※備考	

大規模小売店舗届出書

沖縄県知事 殿

令和7年 7 月 9 日

JR九州ビルマネジメント株式会社
代表取締役 古賀大貴
福岡県福岡市博多区吉塚本町13番2号



大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名称 (仮称) 沖縄県うるま市複合店舗開発
所在地 沖縄県うるま市字前原前原172番1 外

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小 売 業 者		住 所
氏 名 (名 称)	代表者 (法人の場合)	
コーナン商事株式会社	代表取締役 足田直太郎	大阪府堺市西区鳳東町4丁401番地1
株式会社野嵩商会	代表取締役 仲村 明	沖縄県宜野湾市野嵩一丁目12番13号

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和8年 3 月 10 日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

4, 189㎡

5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

符号	駐車場の種類	収容台数	1台当たりの区画の面積 (㎡)	位 置
		(うち 軽自動車専用台数)	(うち 軽自動車専用区画)	
—	建物外平面駐車場 (自走式)	111台	5.0m×2.5m=12.5㎡ 5.0m×3.5m=17.5㎡	建物敷地内 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]
		(0台)	—	

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

符号	収容台数	備 考 (原動機付自転車等が駐輪した場合の収容台数)	位 置
—	67台	50台	建物敷地東側 [資料-3 平面図兼配置図 (p.33)]

※駐輪スペース 0.6m×2.0m、原動機付自転車等駐輪スペース 0.8m×2.0m

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

符号	面 積	(うち、搬出入車輛駐車 スペース面積)	(搬出入車輛の駐車可能 台数)	位 置
No.1	50m ²	50m ²	1台	A棟西側 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]
No.2	50m ²	50m ²	1台	B棟南側 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]
No.3	80m ²	80m ²	2台	B棟北側 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]
合計	180m ²	180m ²		

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

符号	容 量	施設面積×高さ (m ² × m)	位 置
No.1	11.97m ³	7.98m ² ×1.5m=11.97m ³	A棟内西側 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]
No.2	30.24m ³	20.16m ² ×1.5m=30.24m ³	B棟内北側 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]
合計	42.21m ³		

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小 売 業 者	開店時刻	閉店時刻	備考
コーナン商事株式会社	午前6時30分	午後10時00分	A棟
株式会社野高商会	24時間営業		B棟

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

24時間

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

符号	駐車場No.	出入口の数			位 置
		入口	出口	出入口	
—	建物外平面駐車場 (自走式)	0	0	3	建物敷地南側及び東側 [資料-3 平面図兼配置図上 (p.33)]

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

符号	荷さばき施設可能時間帯
No.1	24時間
No.2	24時間
No.3	6時～21時

添 付 書 類

1 法人にあっては、その登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し

別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

図面No.	小売業者の氏名又は 名称及び代表者の氏名	小売業者（小売業者 以外の者）の所在地	主として販売する 物品の種類	開店 時刻	閉店 時刻
A棟 資料－3	コーナン商事株式会社 代表取締役 疋田直太郎	大阪府堺市西区鳳東町 4丁401番地1	建築資材、建築金物 電動工具、作業衣料用品等	6時30分	22時00分
B棟 資料－3	株式会社野嵩商会 代表取締役 仲村 明	沖縄県宜野湾市野嵩 一丁目12番13号	生鮮食料品等	0時00分	24時00分

※小売店舗と利用者が概ね一致すると想定される小売業以外の施設
該当なし

※小売店舗と利用者が異なる小売業以外の施設
該当なし

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

(1) 建物の位置を示す図面

- ・別添「資料－1 建物位置図（広域図）（p.31）」参照
- ・別添「資料－2 周辺見取図（p.32）」参照
- ・別添「資料－3 平面図兼配置図（p.33）」参照
- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図（1）（p.34）」参照
- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図（2）（p.35）」参照
- ・別添「資料－5 案内経路図（p.36）」参照
- ・別添「資料－6 動線計画図（p.37）」参照

(2) 小売業の配置を示す図面

- ・別添「資料－3 平面図兼配置図（p.33）」参照

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 駐車場

《指針の計算式による場合》

事 項	数 値	算出根拠等
S：店舗面積	4.189千㎡	
地区の区分	その他地区	(理由；準住居地域)
S'：小売業以外の複合施設面積の合計	0㎡	$S' < S \times 0.2$
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	974.33人／千㎡	人口40万人未満・1,100－30S (S<5)
B：ピーク率	14.4%	経済産業省指針数値
L：駅（バスターミナル）からの距離	－ m	－
C：自動車分担率	70%	人口10万人以上40万人未満
D：平均乗車人員（小数点第3位四捨五入）	2.0人／台	10千㎡未満
E：平均駐車時間係数（小数点第3位四捨五入）	0.88	10千㎡未満・ $(30+5.5S) / 60$

○小売店舗へのピーク1時間当たりの自動車来台数（206台）

$$A \times S \times B \times C \div D = 974.33 \text{人} / \text{千㎡} \times 4.189 \text{千㎡} \times 14.4\% \times 70\% \div 2.0 \text{人} / \text{台} \\ = 206 \text{台（端数切り上げ）}$$

○必要駐車場台数（182台）

$$206 \text{台} \times E (0.88) = 182 \text{台（端数切り上げ）}$$

当該大規模小売店舗駐車場設置台数 111台 < 必要駐車場台数 182台

(内訳) ↓

小売業に係る駐車場設置台数 111台
小売業以外に係る駐車場設置台数 98台

符号	名 称	業態	必要駐車場台数 (台)	当該小売店舗駐車場 との共用台数	算出根拠等
—	従業員用駐車場	—	98台	0台	ピーク時における自動車通勤予定従業員数より
—	併設施設用駐車場	—	0台	0台	
合 計			98台	0台	

(その他記載する事項)

駐車場の分散確保の有無	理 由
無	建物敷地内において必要駐車台数を確保しており、計画している駐車場形式及び駐車場出入口の数や位置について、周辺道路の交通に与える影響が少ないと考えられるため。

《指針の計算式によらない場合》

当該店舗は、ホームセンターであるコーナン商事株式会社（A棟）と食料品スーパーであるフレッシュプラザユニオンを営む株式会社野富商会（B棟）とで構成されている。

A棟は、住宅建築資材、建築金物、構造用合板、電動工具、作業衣料用品等を取り扱う建築業者、個人事業者を対象にしたホームセンターであり、店舗面積に比して1日に来店する客数が大店立地法指針による算出結果より極端に少ないことから、必要駐車台数の算出に当たっては独自のデータ等を用いて算出することとした。

独自データについては、店舗面積、商圈規模、商品構成等の店舗特性と、用途地域、郊外幹線道路沿い等のアクセス性を考慮した立地環境に類似性が認められる既存系列3店舗を選択した。

算出の結果、次項に示すとおり必要駐車台数は40台となる。

店舗名称	PRO門真島頭店	PRO外環大東店	PRO高槻下田部店	(仮称) 沖縄県うるま市複合店舗開発	
				指針値	最大値
所在地	大阪府門真市島頭四丁目1番36号	大阪府大東市南新田二丁目2番2号	大阪府高槻市下田部町二丁目10番7号	沖縄県うるま市字前原原172番1	
主要幹線道路	第二京阪道路	国道170号	大阪府道16号線	県道具志川前原線	
立地所在地行政人口（人）	12.1万	12.0万	35.1万	12.6万	
用途地域	第二種住居地域	準工業地域	準工業地域	準住居地域	
S：店舗面積（千㎡）	2.663	2.721	1.472	2.213	
A：日来店客数原単位（人/千㎡）	347	336	474	1,034	474
来店客数（人/日）	923	914	698	2,287	1,049
B：ピーク率（％）	13.5	13.6	13.1	14.4	13.6
C：自動車分担率（％）	80.5	86.8	80.5	70.0	86.8
D：平均乗車人員（人/台）	1.99	1.96	1.94	2.00	1.94
E：平均駐車時間係数	0.62	0.59	0.61	0.70	0.62
ピーク時来店台数	51	56	38	116	65
必要駐車台数	32	34	24	82	40

必要駐車台数＝2.213（千㎡）×474（人/千㎡）×13.6（％）×86.8（％）÷1.94（人/台）×0.62
＝40台

一方、B棟は該当店舗面積を基に立地法指針算定式により算出した。
その結果、下表に示すとおり71台となる。

事 項 等	各事項算出のための計算式等	
S：店舗面積	1.976千㎡	
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,040.72/千㎡	人口40万人未満・1,100－30S（S<5）
B：ピーク率	14.4％	
C：自動車分担率	70％	人口10万人以上40万人未満
D：平均乗車人員	2.0人/台	店舗面積10,000㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.68	店舗面積10,000㎡未満 E＝30＋5.5S/60（小数点第3位四捨五入）
日来店台数	720台	A×S×C÷D（端数切り上げ）
ピーク時来店台数	104台	A×S×B×C÷D（端数切り上げ）
必要駐車台数	71台	ピーク時来店台数×E（端数切り上げ）

○以上の算出結果より、施設全体の必要駐車場台数は下記に示すとおり111台となる。

A棟の必要駐車台数（40台）＋B棟の必要駐車台数（71台）＝111台

(2) 駐輪場について <指針参考値に基づく算出>

符号	駐輪場の収容台数（台）	算 出 根 拠	備 考
—	67台	必要駐輪台数＝店舗面積÷35㎡ ＝4,189㎡÷35㎡＝120台 ※上記計算式は、自転車を利用する来客の割合が高いと考えられる商業地区における食品スーパー及び総合スーパーにおける現状の整備台数から試算した場合の参考値となる。 よって、下記のとおりパーソントリップに基づき必要駐輪台数を算出する。	自動二輪車駐輪場7台 原動機付自転車共用50台

<パーソントリップに基づく算出>

事 項		備 考												
ア) ピーク時自動車来店台数	169台	上記（１）指針の計算式によらない場合より												
イ) 来店自動車台数に対する 自転車の割合	16.8%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」からうるま市 が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より、 平日の値を用いると、 <table><tr><td></td><td>自動車(a)</td><td>自転車(b)</td><td>(a)に対する (b)の割合</td></tr><tr><td>平 日</td><td>66.1%</td><td>11.1%</td><td>16.8%</td></tr><tr><td>休 日</td><td>80.0%</td><td>6.1%</td><td>7.6%</td></tr></table>		自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する (b)の割合	平 日	66.1%	11.1%	16.8%	休 日	80.0%	6.1%	7.6%
	自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する (b)の割合											
平 日	66.1%	11.1%	16.8%											
休 日	80.0%	6.1%	7.6%											
ウ) 平均駐輪時間係数	0.88	大店立地法指針の算定式より												
必要駐輪台数	25台	ア×イ×ウ（端数処理：切り上げ）												

■必要自動二輪車駐車台数

<パーソントリップに基づく>

項 目	予測数値	予測数値の根拠等												
ア) ピーク時自動車来店台数	169台	上記（１）指針の計算式によらない場合より												
イ) 自動二輪車分担率	2.6%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」からうるま市が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より <table><tr><td></td><td>自動車(a)</td><td>二輪車(b)</td><td>(a)に対する(b)の割合</td></tr><tr><td>平日</td><td>66.1%</td><td>1.7%</td><td>2.6%</td></tr><tr><td>休日</td><td>80.0%</td><td>0.8%</td><td>1.0%</td></tr></table>		自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する(b)の割合	平日	66.1%	1.7%	2.6%	休日	80.0%	0.8%	1.0%
	自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する(b)の割合											
平日	66.1%	1.7%	2.6%											
休日	80.0%	0.8%	1.0%											
ウ) 平均駐車時間係数	0.88	大店立地法指針の算定式より												
必要自動二輪車駐車台数	4台	① ア×イ×ウ（端数処理：切り上げ）												

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

①周辺見取図の作成

(1) 来客自動車の案内経路及び帰路

- ・別添「資料ー5 案内経路図 (p.36)」参照
- ・別添「資料ー6 動線計画図 (p.37)」参照

(2) 経路案内板、駐車場の空き状況を示す表示板等の設置場所

- ・別添「資料ー6 動線計画図 (p.37)」参照

(3) 車線数、交通量調査を行った交差点等の位置

- ・別添「資料ー4. 1 周辺道路状況図 (1) (p.34)」参照
- ・別添「資料ー5 案内経路図 (p.36)」参照

(4) 信号機、横断歩道等、交通規制(一方通行等)、駐車場出入口に接する道路の歩道等の有無

- ・別添「資料ー4. 1 周辺道路状況図 (1) (p.34)」参照

(5) 学校等との位置及び通学路

- ・別添「資料ー4. 2 周辺道路状況図 (2) (p.35)」参照

(6) バス停留所

- ・別添「資料― 4. 2 周辺道路状況図 (2) (p. 35)」参照

(7) 路上駐車

- ・計画地周辺道路において、路上駐車等は見受けられない。

(8) 搬出入車輛の経路

- ・別添「資料― 6 動線計画図 (p. 37)」参照

(9) 経路上にある他の大規模小売店舗や大規模な集客施設等

- ・計画地の南西側隣地には「スーパースポーツゼビオうるま店」、県道具志川前原線を挟み南東側にはパチンコ店、南側には「ヤマダデンキテックランド具志川店」等の大規模集客施設が立地している。

②各案内経路別来台数割合の予測結果及び算出根拠

- ・別添「資料― 5 案内経路図 (p. 36)」参照
- ・別冊資料「(仮称) 沖縄県うるま市複合店舗開発 交通処理計画報告書」参照

③交通量調査結果の添付

- ・別冊資料「(仮称) 沖縄県うるま市複合店舗開発 交通処理計画報告書」参照

④交差点交通量の予測結果について

- ・別冊資料「(仮称) 沖縄県うるま市複合店舗開発 交通処理計画報告書」参照

⑤出入口の形式について

- ・自走式平面駐車場で発券ブース等の設置なし(駐車待ちスペース必要なし)

- ・県道具志川前原線に設置する出入口No.1、出入口No.2について

道路利用者と店舗利用者の安全確保の観点から、駐車場出入口は原則として1つにすることが望ましいとされますが、当該店舗は業態が異なる2棟で構成され、又、ピーク時には400台の来退店車両の集中が予測されており、且つ、業務用搬入トラックも出入口を共用することになるため、入庫待ち滞留等の発生による県道具志川前原線の影響を軽減すべく、出入口は2箇所設置することとしました。

特に、オープン時など想定を上回る来店車両が見込まれる際には、当該出入口を入口専用及び出口専用として運用することで、円滑な交通流の確保に努めます。

- ・市道江洲前原線に出入口No.3を設置する理由について

本来、路外駐車場の前面道路が2以上ある場合の自動車の出入口の設置は、原則として自動車交通に支障を及ぼすおそれの少ない道路に設けることとされております。

市道江洲前原線は住宅地への生活道路であり、道路幅員が狭く車道と歩道が明確に区分されていない道路であるため、全ての来店車両が集中することで、歩行者の通行に著しい影響を及ぼすものと考えられるため、自動車交通に支障を及ぼす恐れが少ない県道具志川前原線にも出入口を設けることとしました。

- ・県道具志川前原線と市道江洲前原線との交差点部における南進右折経路について

北西方面、北方面及び南方面からのピーク時来店車両(51台)は、県道具志川前原線を南進し、市道江洲前原線へ右折北進経路として設定しました。

検証の結果、開店後における幹線流動の遅れの程度は「滞留はなく、遅れは平均」と評価され、ピーク時の発生需要交通流量が周辺地域に与える影響は比較的小さいものであると考えられます。

よって、周辺道路がピークとなる時間帯、オープン時や繁忙期など多くの来店車両が見込まれる時期には、交通誘導上主要な箇所に交通誘導員を配置するとともに、事前に案内経路等の情報提供を行います。

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

- ・周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面
別添「資料－5 案内経路図 (p. 37)」参照

- ・経路等を来店者に知らせる方法

項 目	具 体 的 な 内 容
案内表示の設置 (看板等)	・建物敷地東側角地には広告塔、各出入口には案内表示看板を設置する。 別添「資料－6 動線計画図 (p. 37)」参照
ちらし等の配付	・オープン時や繁忙時など多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路図を掲載することで、事前に情報提供を行う。
交通整理員の配置	配置場所：別添「資料－6 動線計画図 (p. 37)」に示す場所以外に来客の誘導あるいは交通安全上重要な地点に配置する。 人 数：3名程度 (オープン時や繁忙時のみ、状況に応じて適宜増員する) 配置日時：午前7時30分～午後8時00分
そ の 他	・オープン時対策として、地元警察署と協議を行い、来店車両の誘導及び歩行者の安全対策に努めていく。 ・オープンに伴って来店車両により周辺道路の交通流に変化が生じ、周辺地域の生活道路に渋滞等の影響が生じた場合には、関係機関と協議を行い、必要な対策を講じていく。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設No.1			
時間帯	車両の大きさ	車両台数 (台)	平均的な処理時間 (分)
6時台	4 t 車	2台	20分
7時台	4 t 車	0台	0分
8時台	4 t 車	1台	20分
9時台	4 t 車	2台	20分
10時台	4 t 車	1台	20分
11時台	4 t 車	0台	0分
12時台	4 t 車	0台	0分
13時台	4 t 車	0台	0分
14時台	4 t 車	3台	20分
15時台	4 t 車	1台	20分
16時台	4 t 車	0台	0分
17時台	4 t 車	2台	20分
18時台	4 t 車	0台	0分
19時台	4 t 車	0台	0分
20時台	4 t 車	0台	0分
21時台	4 t 車	0台	0分
22時台	4 t 車	0台	0分
23時台	4 t 車	1台	20分
0時台	4 t 車	0台	0分
1時台	4 t 車	1台	20分
2時台	4 t 車	0台	0分
3時台	4 t 車	0台	0分
4時台	4 t 車	0台	0分
5時台	4 t 車	0台	0分
合 計		14台	

荷さばき施設No.2			
時間帯	車両の大きさ	車両台数 (台)	平均的な処理時間 (分)
6時台	4 t 車	2台	20分
7時台	4 t 車	1台	20分
8時台	4 t 車	0台	0分
9時台	4 t 車	1台	20分
10時台	4 t 車	1台	20分
11時台	4 t 車	0台	0分
12時台	4 t 車	0台	0分
13時台	4 t 車	0台	0分
14時台	4 t 車	0台	0分
15時台	4 t 車	0台	0分
16時台	4 t 車	0台	0分
17時台	4 t 車	0台	0分
18時台	4 t 車	0台	0分
19時台	4 t 車	0台	0分
20時台	4 t 車	0台	0分
21時台	4 t 車	0台	0分
22時台	4 t 車	0台	0分
23時台	4 t 車	0台	0分
0時台	4 t 車	0台	0分
1時台	4 t 車	0台	0分
2時台	4 t 車	0台	0分
3時台	4 t 車	0台	0分
4時台	4 t 車	0台	0分
5時台	4 t 車	1台	20分
合 計		5台	

荷さばき施設No.3			
時間帯	車両の大きさ	車両台数 (台)	平均的な処理時間 (分)
6時台	4 t 車	2台	20分
7時台	4 t 車	0台	0分
8時台	4 t 車	2台	20分
9時台	4 t 車	1台	20分
10時台	4 t 車	1台	20分
11時台	4 t 車	1台	20分
12時台	4 t 車	0台	0分
13時台	4 t 車	1台	20分
14時台	4 t 車	0台	0分
15時台	4 t 車	1台	20分
16時台	4 t 車	0台	0分
17時台	4 t 車	1台	20分
18時台	4 t 車	1台	20分
19時台	4 t 車	0台	0分
20時台	4 t 車	1台	20分
21時台	4 t 車	1台	0分
合 計		13台	

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
無	—	—	—	—

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

No.	項 目		設置の有無	稼働時間帯	位 置	
	種 類	形 式				
1	室外機1	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
2	室外機2	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
3	室外機3	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
4	室外機4	RZRP140BY	有	6:00~22:00	1階部(0.5m)	資料-7
5	室外機5	RZRP80BYT	有	6:00~22:00	1階部(0.3m)	資料-7
6	室外機6	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
7	室外機7	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
8	室外機8	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
9	室外機9	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
10	室外機10	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
11	室外機11	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
12	室外機12	RZRP280BA	有	6:00~22:00	1階部(0.7m)	資料-7
13	室外機13	RAS-GP80RSH3	有	終 日	1階部(0.3m)	資料-7
14	室外機14	RAS-GP80RSH3	有	終 日	1階部(0.3m)	資料-7
15	室外機15	RAS-GP140RSH4	有	終 日	1階部(0.6m)	資料-7
16	室外機16	RAS-GP140RSH4	有	終 日	1階部(0.6m)	資料-7
17	室外機17	RAS-GP80LVA	有	終 日	1階部(0.3m)	資料-7
18	室外機18	RAS-GP80LVA	有	終 日	1階部(0.3m)	資料-7
19	室外機19	RAS-GP112LVA	有	終 日	1階部(0.4m)	資料-7
20	室外機20	RAS-GP140LVA	有	終 日	1階部(0.6m)	資料-7
21	室外機21	RAS-GP80RSH3	有	終 日	1階部(0.3m)	資料-7
22	室外機22	RAS-GP80RSH3	有	終 日	1階部(0.3m)	資料-7
23	室外機23	RAS-GP140RSH4	有	終 日	1階部(0.6m)	資料-7
24	室外機24	RAS-GP140RSH4	有	終 日	1階部(0.6m)	資料-7
25	室外機25	RAS-GP140RSH4	有	終 日	1階部(0.6m)	資料-7
26	室外機26	RAS-GP850TZ	有	終 日	1階部(0.9m)	資料-7
27	室外機27	RAS-GP850TZ	有	終 日	1階部(0.9m)	資料-7
28	室外機28	RAS-GP670TZ	有	終 日	1階部(0.9m)	資料-7
29	冷凍冷蔵庫屋外機1	OCU-KS2000MVF	有	終 日	1階部(2.1m)	資料-7
30	冷凍冷蔵庫屋外機2	OCU-KS1250VF	有	終 日	1階部(2.1m)	資料-7
31	冷凍冷蔵庫屋外機3	OCU-KS1250VF	有	終 日	1階部(2.1m)	資料-7
32	冷凍冷蔵庫屋外機4	OCU-KS1250VF	有	終 日	1階部(2.1m)	資料-7
33	冷凍冷蔵庫屋外機5	OCU-KS2500MVF	有	終 日	1階部(2.1m)	資料-7
34	冷凍冷蔵庫屋外機6	OCU-KS2500MVF	有	終 日	1階部(2.1m)	資料-7
35	排気口1	EF-40DSXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
36	排気口2	EF-40DSXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
37	排気口3	EF-40DSXC2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
38	排気口4	EF-40DSXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
39	排気口5	EF-30BSXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
40	排気口6	S-200SP	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
41	排気口7	EF-40DSXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
42	排気口8	EF-30BSXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7

No.	項 目		設置の 有 無	稼働時間帯	位 置	
	種 類	形 式				
43	排気口9	EF-25ASXC2	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
44	排気口10	VD-23ZB13	有	6:00~22:00	1階部(3.8m)	資料-7
45	排気口11	VD-23ZLX13-CS	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
46	排気口12	BFS-300TUA2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
47	排気口13	BFS-300TUA2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
48	排気口14	VD-23ZB13	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
49	排気口15	EF-25ASXC2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
50	排気口16	EG-40CSXC2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
51	排気口17	EG-40CSXC2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
52	排気口18	EG-40CSXC2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
53	排気口19	BFS-210TUG2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
54	排気口20	BFS-210TUG2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
55	排気口21	BFS-210TUG2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
56	排気口22	BFS-210TUG2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
57	排気口23	BFS-210TUG2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
58	排気口24	BFS-210TUG2	有	終 日	1階部(3.8m)	資料-7
59	キュービクル1	キュービクルa	有	終 日	1階部(1.5m)	資料-7
60	キュービクル2	キュービクルb	有	終 日	1階部(1.5m)	資料-7

・別添「資料-7 騒音発生源位置図 (p.38)」参照

○等価騒音レベルの予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
A地点	建物敷地北西側住居敷地内	準住居地域	27.9	50.4	0.5
B地点	建物敷地北西側住居敷地内	無指定地域	72.5	72.7	0.8
C地点	建物敷地北東側住居敷地内	準住居地域	128.4	46.6	0.5
D地点	建物敷地東側集合住宅敷地内	準住居地域	12.9	-95.5	1.2

【選定根拠】
A地点: A棟北西側に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる住居敷地内とした。
B地点: B棟北西側に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる住居敷地内とした。
C地点: B棟北東側に設置される設備機器の稼働音、荷さばき施設及び廃棄物等保管施設から発生する作業音の影響を最も受けるとされる住居敷地内とした。
D地点: 駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けるとされる集合住宅敷地内とした。

※ 建物敷地南西側には大規模小売店舗、南東側には遊戯施設が立地しているなど、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。

○騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測地点

夜間に騒音を発生する発生源ごとに最も近い計画地敷地境界上とする。

・別添「資料－8 騒音予測地点位置図 (p. 39)」参照

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

地点	地域の類型	環境基準値		予 測 値			評 価
				一般住居等		高層住居等	
				遮音壁無	遮音壁有		
A地点	B類型	昼 間	55	46.1	—	—	適 合
		夜 間	45	41.3	—	—	適 合
B地点	B類型	昼 間	55	47.2	—	—	適 合
		夜 間	45	44.8	—	—	適 合
C地点	B類型	昼 間	55	48.5	—	—	適 合
		夜 間	45	42.3	—	—	適 合
D地点	B類型	昼 間	55	43.2	—	—	適 合
		夜 間	45	39.1	—	—	適 合

※指針に示された予測式等に基づく計算過程は、別冊「(仮称) 沖縄県うるま市複合店舗開発 騒音予測評価報告書」に示す。

11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

	騒音発生源	地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
				遮音壁無	遮音壁有	
定	1 室外機1	第2種	40	43	—	不適合
	2 室外機2	第2種	40	43	—	不適合
	3 室外機3	第2種	40	43	—	不適合
	4 室外機4	第2種	40	36	—	適合
	5 室外機5	第2種	40	33	—	適合
	6 室外機6	第2種	40	42	—	不適合
	7 室外機7	第2種	40	41	—	不適合
	8 室外機8	第2種	40	40	—	適合
	9 室外機9	第2種	40	39	—	適合
	10 室外機10	第2種	40	34	—	適合
	11 室外機11	第2種	40	33	—	適合
	12 室外機12	第2種	40	33	—	適合
	13 室外機13	第2種	40	40	—	適合
	14 室外機14	第2種	40	40	—	適合
	15 室外機15	第2種	40	44	—	不適合
	16 室外機16	第2種	40	44	—	不適合
	17 室外機17	第2種	40	34	—	適合
	18 室外機18	第2種	40	34	—	適合
	19 室外機19	第2種	40	36	—	適合
	20 室外機20	第2種	40	37	—	適合
	21 室外機21	第2種	40	36	—	適合
	22 室外機22	第2種	40	36	—	適合
	23 室外機23	第2種	40	40	—	適合
	24 室外機24	第2種	40	40	—	適合
騒	25 室外機25	第2種	40	41	—	不適合
	26 室外機26	第2種	40	42	—	不適合
	27 室外機27	第2種	40	42	—	不適合
	28 室外機28	第2種	40	40	—	適合
	29 冷凍冷蔵庫屋外機1	第2種	40	47	—	不適合
	30 冷凍冷蔵庫屋外機2	第2種	40	46	—	不適合
	31 冷凍冷蔵庫屋外機3	第2種	40	46	—	不適合
	32 冷凍冷蔵庫屋外機4	第2種	40	46	—	不適合
	33 冷凍冷蔵庫屋外機5	第2種	40	47	—	不適合
	34 冷凍冷蔵庫屋外機6	第2種	40	47	—	不適合
	35 排気口1	第2種	40	32	—	適合
	36 排気口2	第2種	40	35	—	適合
	37 排気口3	第2種	40	39	—	適合
音	38 排気口4	第2種	40	40	—	適合
	39 排気口5	第2種	40	33	—	適合
	40 排気口6	第2種	40	33	—	適合
	41 排気口7	第2種	40	41	—	不適合
	42 排気口8	第2種	40	33	—	適合
	43 排気口9	第2種	40	34	—	適合
	44 排気口10	第2種	40	9	—	適合
	45 排気口11	第2種	40	9	—	適合
	46 排気口12	第2種	40	32	—	適合
	47 排気口13	第2種	40	32	—	適合

騒音発生源			地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
					遮音壁無	遮音壁有	
定 常 騒 音	48	排気口14	第2種	40	26	—	適 合
	49	排気口15	第2種	40	29	—	適 合
	50	排気口16	第2種	40	32	—	適 合
	51	排気口17	第2種	40	32	—	適 合
	52	排気口18	第2種	40	32	—	適 合
	53	排気口19	第2種	40	30	—	適 合
	54	排気口20	第2種	40	30	—	適 合
	55	排気口21	第2種	40	30	—	適 合
	56	排気口22	第2種	40	30	—	適 合
	57	排気口23	第2種	40	30	—	適 合
	58	排気口24	第2種	40	30	—	適 合
	59	キュービクル1	第2種	40	41	—	不適合
変 動 騒 音	60	キュービクル2	第2種	40	42	—	不適合
	72	台車走行音	第2種	40	59	—	不適合
	73	台車走行音	第2種	40	44	—	不適合
	※	来客車両走行音1-1	第2種	40	68	—	不適合
	※	来客車両走行音1-2	第2種	40	60	—	不適合
	※	来客車両走行音1-3	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音2-1	第2種	40	54	—	不適合
	※	来客車両走行音2-2	第2種	40	54	—	不適合
	※	来客車両走行音2-3	第2種	40	54	—	不適合
	※	来客車両走行音3-1	第2種	40	52	—	不適合
	※	来客車両走行音3-2	第2種	40	52	—	不適合
	※	来客車両走行音3-3	第2種	40	52	—	不適合
	※	来客車両走行音4-1	第2種	40	53	—	不適合
	※	来客車両走行音4-2	第2種	40	53	—	不適合
	※	来客車両走行音4-3	第2種	40	54	—	不適合
	※	来客車両走行音5-1	第2種	40	52	—	不適合
	※	来客車両走行音5-2	第2種	40	49	—	不適合
	※	来客車両走行音5-3	第2種	40	46	—	不適合
	※	来客車両走行音6-1	第2種	40	44	—	不適合
	※	来客車両走行音6-2	第2種	40	42	—	不適合
	※	来客車両走行音6-3	第2種	40	41	—	不適合
	※	来客車両走行音7-1	第2種	40	41	—	不適合
	※	来客車両走行音7-2	第2種	40	41	—	不適合
	※	来客車両走行音7-3	第2種	40	41	—	不適合
	※	来客車両走行音8-1	第2種	40	40	—	適 合
	※	来客車両走行音8-2	第2種	40	41	—	不適合
	※	来客車両走行音8-3	第2種	40	42	—	不適合
	※	来客車両走行音9-1	第2種	40	44	—	不適合
	※	来客車両走行音9-2	第2種	40	45	—	不適合
	※	来客車両走行音9-3	第2種	40	47	—	不適合
	※	来客車両走行音10-1	第2種	40	49	—	不適合
	※	来客車両走行音10-2	第2種	40	49	—	不適合
	※	来客車両走行音10-3	第2種	40	49	—	不適合
	※	来客車両走行音11-1	第2種	40	50	—	不適合
	※	来客車両走行音11-2	第2種	40	53	—	不適合
	※	来客車両走行音11-3	第2種	40	58	—	不適合
	※	来客車両走行音12-1	第2種	40	49	—	不適合

騒音発生源			地域の種類	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
					遮音壁無	遮音壁有	
変 動 騒 音	※	来客車両走行音12-2	第2種	40	49	—	不適合
	※	来客車両走行音12-3	第2種	40	50	—	不適合
	※	来客車両走行音13-1	第2種	40	51	—	不適合
	※	来客車両走行音13-2	第2種	40	56	—	不適合
	※	来客車両走行音13-3	第2種	40	65	—	不適合
	※	来客車両走行音14-1	第2種	40	50	—	不適合
	※	来客車両走行音14-2	第2種	40	51	—	不適合
	※	来客車両走行音14-3	第2種	40	53	—	不適合
	※	来客車両走行音15-1	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音15-2	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音15-3	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音16-1	第2種	40	57	—	不適合
	※	来客車両走行音16-2	第2種	40	61	—	不適合
	※	来客車両走行音16-3	第2種	40	68	—	不適合
	※	来客車両走行音17-1	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音17-2	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音17-3	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音18-1	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音18-2	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音18-3	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音19-1	第2種	40	54	—	不適合
	※	来客車両走行音19-2	第2種	40	55	—	不適合
	※	来客車両走行音19-3	第2種	40	55	—	不適合
	※	従業員車両走行音1-1	第2種	40	68	—	不適合
	※	従業員車両走行音1-2	第2種	40	60	—	不適合
	※	従業員車両走行音1-3	第2種	40	55	—	不適合
	※	従業員車両走行音2-1	第2種	40	54	—	不適合
	※	従業員車両走行音2-2	第2種	40	54	—	不適合
	※	従業員車両走行音2-3	第2種	40	54	—	不適合
	※	従業員車両走行音3-1	第2種	40	52	—	不適合
	※	従業員車両走行音3-2	第2種	40	52	—	不適合
	※	従業員車両走行音3-3	第2種	40	52	—	不適合
	※	従業員車両走行音4-1	第2種	40	53	—	不適合
	※	従業員車両走行音4-2	第2種	40	53	—	不適合
	※	従業員車両走行音4-3	第2種	40	54	—	不適合
	※	従業員車両走行音5-1	第2種	40	52	—	不適合
	※	従業員車両走行音5-2	第2種	40	49	—	不適合
	※	従業員車両走行音5-3	第2種	40	46	—	不適合
	※	従業員車両走行音6-1	第2種	40	44	—	不適合
	※	従業員車両走行音6-2	第2種	40	42	—	不適合
	※	従業員車両走行音6-3	第2種	40	41	—	不適合
	※	従業員車両走行音7-1	第2種	40	41	—	不適合
	※	従業員車両走行音7-2	第2種	40	41	—	不適合
	※	従業員車両走行音7-3	第2種	40	41	—	不適合
	※	従業員車両走行音8-1	第2種	40	40	—	適合
	※	従業員車両走行音8-2	第2種	40	41	—	不適合
	※	従業員車両走行音8-3	第2種	40	42	—	不適合
	※	従業員車両走行音9-1	第2種	40	44	—	不適合
	※	従業員車両走行音9-2	第2種	40	45	—	不適合

騒音発生源			地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
					遮音壁無	遮音壁有	
変 動 騒 音	※	搬出入車両走行音8-1	第2種	40	42	—	不適合
	※	搬出入車両走行音8-2	第2種	40	41	—	不適合
	※	搬出入車両走行音8-3	第2種	40	41	—	不適合
	※	搬出入車両走行音9-1	第2種	40	42	—	不適合
	※	搬出入車両走行音9-2	第2種	40	44	—	不適合
	※	搬出入車両走行音9-3	第2種	40	45	—	不適合
	※	搬出入車両走行音10-1	第2種	40	47	—	不適合
	※	搬出入車両走行音10-2	第2種	40	50	—	不適合
	※	搬出入車両走行音10-3	第2種	40	54	—	不適合
	※	搬出入車両走行音11-1	第2種	40	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音11-2	第2種	40	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音11-3	第2種	40	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音12-1	第2種	40	58	—	不適合
	※	搬出入車両走行音12-2	第2種	40	62	—	不適合
	※	搬出入車両走行音12-3	第2種	40	70	—	不適合
	※	搬出入車両走行音13-1	第2種	40	53	—	不適合
	※	搬出入車両走行音13-2	第2種	40	50	—	不適合
	※	搬出入車両走行音13-3	第2種	40	47	—	不適合
	※	搬出入車両走行音14-1	第2種	40	45	—	不適合
	※	搬出入車両走行音14-2	第2種	40	44	—	不適合
衝 撃 騒 音	※	搬出入車両走行音14-3	第2種	40	44	—	不適合
	※	搬出入車両走行音15-1	第2種	40	42	—	不適合
	※	搬出入車両走行音15-2	第2種	40	42	—	不適合
	※	搬出入車両走行音15-3	第2種	40	44	—	不適合
	75	荷下ろし音	第2種	40	59	—	不適合
	76	荷下ろし音	第2種	40	44	—	不適合
	78	搬出入車両荷台扉開	第2種	40	60	—	不適合
	79	搬出入車両荷台扉開	第2種	40	45	—	不適合
	81	搬出入車両荷台扉閉	第2種	40	62	—	不適合
	82	搬出入車両荷台扉閉	第2種	40	47	—	不適合
音	84	搬出入車両座席扉開	第2種	40	61	—	不適合
	85	搬出入車両座席扉開	第2種	40	46	—	不適合
	87	搬出入車両エンジン	第2種	40	61	—	不適合
	88	搬出入車両エンジン	第2種	40	46	—	不適合

※指針に示された予測式等に基づく計算過程は、別冊「（仮称）沖縄県うるま市複合店舗開発 騒音予測評価報告書」に示す。

予測の結果、基準値を上回ることが予測された。

＜騒音対策の検討＞

自動車走行音の影響を抑制すべく、駐車場内には徐行運転（10km/h以下）やアイドリング禁止を励行する旨の看板を設置し、来店客及び従業員に注意を喚起する。

また、建物敷地北東側には市道江州前原線、南東側には県道具志川前原線が面しており、南西側には大規模小売店舗が立地しているなど、自動車走行音の直接的な影響はないものと考えられる。

大規模小売店舗の敷地の境界線上における騒音レベル最大値の予測結果（対策後）

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
番号	機器名称	高さ					
※	来客車両走行音（線分番号1-1）	0.6	67.8	2.0	6.0	-	62
※	来客車両走行音（線分番号1-2）	0.5	67.8	5.1	14.2	-	54
※	来客車両走行音（線分番号1-3）	0.4	67.8	8.5	18.6	-	49
※	来客車両走行音（線分番号2-1）	0.4	67.8	10.1	20.1	-	48
※	来客車両走行音（線分番号2-2）	0.4	67.8	10.1	20.1	-	48
※	来客車両走行音（線分番号2-3）	0.4	67.8	10.1	20.1	-	48
※	来客車両走行音（線分番号3-1）	0.4	67.8	13.0	22.3	-	46
※	来客車両走行音（線分番号3-2）	0.5	67.8	13.0	22.3	-	46
※	来客車両走行音（線分番号3-3）	0.6	67.8	12.3	21.8	-	46
※	来客車両走行音（線分番号4-1）	0.6	67.8	11.6	21.3	-	47
※	来客車両走行音（線分番号4-2）	0.6	67.8	11.0	20.8	-	47
※	来客車両走行音（線分番号4-3）	0.6	67.8	10.4	20.3	-	48
※	来客車両走行音（線分番号5-1）	0.6	67.8	12.8	22.1	-	46
※	来客車両走行音（線分番号5-2）	0.6	67.8	18.4	25.3	-	43
※	来客車両走行音（線分番号5-3）	0.6	67.8	24.1	27.6	-	40
※	来客車両走行音（線分番号6-1）	0.6	67.8	31.0	29.8	-	38
※	来客車両走行音（線分番号6-2）	0.6	67.8	39.4	31.9	-	36
※	来客車両走行音（線分番号6-3）	0.6	67.8	45.1	33.1	-	35
※	来客車両走行音（線分番号7-1）	0.6	67.8	45.9	33.2	-	35
※	来客車両走行音（線分番号7-2）	0.6	67.8	46.6	33.4	-	34
※	来客車両走行音（線分番号7-3）	0.6	67.8	47.3	33.5	-	34
※	来客車両走行音（線分番号8-2）	0.6	67.8	44.2	32.9	-	35
※	来客車両走行音（線分番号8-3）	0.6	67.8	38.3	31.7	-	36
※	来客車両走行音（線分番号9-1）	0.6	67.8	32.5	30.2	-	38
※	来客車両走行音（線分番号9-2）	0.6	67.8	27.1	28.7	-	39
※	来客車両走行音（線分番号9-3）	0.6	67.8	21.5	26.6	-	41
※	来客車両走行音（線分番号10-1）	0.6	67.8	18.6	25.4	-	42
※	来客車両走行音（線分番号10-2）	0.5	67.8	18.3	25.2	-	43
※	来客車両走行音（線分番号10-3）	0.4	67.8	18.0	25.1	-	43
※	来客車両走行音（線分番号11-1）	0.4	67.8	15.5	23.8	-	44
※	来客車両走行音（線分番号11-2）	0.4	67.8	10.8	20.7	-	47
※	来客車両走行音（線分番号11-3）	0.4	67.8	6.2	15.8	-	52
※	来客車両走行音（線分番号12-1）	0.4	67.8	17.7	25.0	-	43
※	来客車両走行音（線分番号12-2）	0.3	67.8	17.4	24.8	-	43
※	来客車両走行音（線分番号12-3）	0.2	67.8	16.8	24.5	-	43
※	来客車両走行音（線分番号13-1）	0.2	67.8	13.6	22.7	-	45
※	来客車両走行音（線分番号13-2）	0.1	67.8	8.3	18.4	-	49
※	来客車両走行音（線分番号13-3）	0.0	67.8	3.0	9.5	-	58
※	来客車両走行音（線分番号14-1）	0.2	67.8	15.9	24.0	-	44
※	来客車両走行音（線分番号14-2）	0.2	67.8	15.0	23.5	-	44
※	来客車両走行音（線分番号14-3）	0.1	67.8	11.6	21.3	-	47

※ 来客車両走行音の騒音レベルは「ASJ Model 2018」文献値とする。

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機 器 名 称	高さ					
	※	来客車両走行音 (線分番号15-1)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号15-2)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号15-3)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号16-1)	0.1	67.8	7.4	17.4	-	50
	※	来客車両走行音 (線分番号16-2)	0.2	67.8	4.6	13.3	-	55
	※	来客車両走行音 (線分番号16-3)	0.3	67.8	1.9	5.6	-	62
	※	来客車両走行音 (線分番号17-1)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号17-2)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号17-3)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号18-1)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号18-2)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号18-3)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号19-1)	0.4	67.8	9.6	19.6	-	48
	※	来客車両走行音 (線分番号19-2)	0.3	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	来客車両走行音 (線分番号19-3)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号1-1)	0.6	67.8	2.0	6.0	-	62
	※	従業員車両走行音 (線分番号1-2)	0.5	67.8	5.1	14.2	-	54
	※	従業員車両走行音 (線分番号1-3)	0.4	67.8	8.5	18.6	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号2-1)	0.4	67.8	10.1	20.1	-	48
	※	従業員車両走行音 (線分番号2-2)	0.4	67.8	10.1	20.1	-	48
	※	従業員車両走行音 (線分番号2-3)	0.4	67.8	10.1	20.1	-	48
	※	従業員車両走行音 (線分番号3-1)	0.4	67.8	13.0	22.3	-	46
	※	従業員車両走行音 (線分番号3-2)	0.5	67.8	13.0	22.3	-	46
	※	従業員車両走行音 (線分番号3-3)	0.6	67.8	12.3	21.8	-	46
	※	従業員車両走行音 (線分番号4-1)	0.6	67.8	11.6	21.3	-	47
	※	従業員車両走行音 (線分番号4-2)	0.6	67.8	11.0	20.8	-	47
	※	従業員車両走行音 (線分番号4-3)	0.6	67.8	10.4	20.3	-	48
	※	従業員車両走行音 (線分番号5-1)	0.6	67.8	12.8	22.1	-	46
	※	従業員車両走行音 (線分番号5-2)	0.6	67.8	18.4	25.3	-	43
	※	従業員車両走行音 (線分番号5-3)	0.6	67.8	24.1	27.6	-	40
	※	従業員車両走行音 (線分番号6-1)	0.6	67.8	31.0	29.8	-	38
	※	従業員車両走行音 (線分番号6-2)	0.6	67.8	39.4	31.9	-	36
	※	従業員車両走行音 (線分番号6-3)	0.6	67.8	45.1	33.1	-	35
	※	従業員車両走行音 (線分番号7-1)	0.6	67.8	45.9	33.2	-	35
	※	従業員車両走行音 (線分番号7-2)	0.6	67.8	46.6	33.4	-	34
	※	従業員車両走行音 (線分番号7-3)	0.6	67.8	47.3	33.5	-	34
	※	従業員車両走行音 (線分番号8-2)	0.6	67.8	44.2	32.9	-	35
	※	従業員車両走行音 (線分番号8-3)	0.6	67.8	38.3	31.7	-	36
	※	従業員車両走行音 (線分番号9-1)	0.6	67.8	32.5	30.2	-	38
	※	従業員車両走行音 (線分番号9-2)	0.6	67.8	27.1	28.7	-	39
	※	従業員車両走行音 (線分番号9-3)	0.6	67.8	21.5	26.6	-	41
	※	従業員車両走行音 (線分番号10-1)	0.6	67.8	18.6	25.4	-	42
	※	従業員車両走行音 (線分番号10-2)	0.5	67.8	18.3	25.2	-	43
	※	従業員車両走行音 (線分番号10-3)	0.4	67.8	18.0	25.1	-	43
	※	従業員車両走行音 (線分番号12-1)	0.4	67.8	17.7	25.0	-	43
	※	従業員車両走行音 (線分番号12-2)	0.3	67.8	17.4	24.8	-	43
	※	従業員車両走行音 (線分番号12-3)	0.2	67.8	16.8	24.5	-	43
	※	従業員車両走行音 (線分番号13-1)	0.2	67.8	13.6	22.7	-	45
	※	従業員車両走行音 (線分番号13-2)	0.1	67.8	8.3	18.4	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号13-3)	0.0	67.8	3.0	9.5	-	58

※ 来客車両・従業員車両走行音の騒音レベルは「ASJ Model 2018」文献値とする。

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機 器 名 称	高さ					
	※	従業員車両走行音 (線分番号14-1)	0.2	67.8	15.9	24.0	-	44
	※	従業員車両走行音 (線分番号14-2)	0.2	67.8	15.0	23.5	-	44
	※	従業員車両走行音 (線分番号14-3)	0.1	67.8	11.6	21.3	-	47
	※	従業員車両走行音 (線分番号15-1)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号15-2)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号15-3)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号16-1)	0.1	67.8	7.4	17.4	-	50
	※	従業員車両走行音 (線分番号16-2)	0.2	67.8	4.6	13.3	-	55
	※	従業員車両走行音 (線分番号16-3)	0.3	67.8	1.9	5.6	-	62
	※	従業員車両走行音 (線分番号17-1)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号17-2)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号17-3)	0.1	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号18-1)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号18-2)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号18-3)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号19-1)	0.4	67.8	9.6	19.6	-	48
	※	従業員車両走行音 (線分番号19-2)	0.3	67.8	8.9	19.0	-	49
	※	従業員車両走行音 (線分番号19-3)	0.2	67.8	8.9	19.0	-	49
		基 準 値						40

※ 従業員車両走行音の騒音レベルは「ASJ Model 2018」文献値とする。

一方、設備機器等及び荷さばき作業に伴い発生する騒音は、下表に示すとおり保全対象側（A～D地点）にて基準値を満足するものが予測された。

開店後、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応してまいります。

A地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
定 常 騒 音	1	室外機1	0.7	61.8	42.6	32.6	-	29	40
	2	室外機2	0.7	61.8	41.5	32.4	-	29	
	3	室外機3	0.7	61.8	40.6	32.2	-	30	
	6	室外機6	0.7	61.8	31.7	30.0	-	32	
	7	室外機7	0.7	61.8	32.3	30.2	-	32	
	41	排気口7	3.8	58.9	69.2	36.8	-	22	
	59	キュービクル1	1.5	50.6	6.4	16.1	-	35	
変 動 騒 音	72	台車走行音	0.0	77.0	55.4	34.9	25.0	17	
	75	荷下ろし音	0.6	76.8	55.4	34.9	21.5	20	
	78	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.9	55.4	34.9	20.8	22	
	81	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.5	55.4	34.9	21.5	23	
	84	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	80.1	62.4	35.9	19.8	24	
	87	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.2	62.4	35.9	22.4	22	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-1）	0.6	75.2	106.2	40.5	21.4	13	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-2）	0.5	75.2	103.1	40.3	21.5	13	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-3）	0.4	75.2	99.7	40.0	21.5	14	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-1）	0.4	75.2	98.5	39.9	21.5	14	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-2）	0.4	75.2	99.6	40.0	21.4	14	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.4	75.2	101.3	40.1	21.4	14	
	※	搬出入車両走行音（線分番号3-1）	0.4	75.2	99.4	39.9	21.3	14	
	※	搬出入車両走行音（線分番号3-2）	0.5	75.2	93.6	39.4	21.3	15	
	※	搬出入車両走行音（線分番号3-3）	0.6	75.2	87.9	38.9	21.3	15	
	※	搬出入車両走行音（線分番号4-1）	0.6	75.2	82.6	38.3	21.3	16	
	※	搬出入車両走行音（線分番号4-2）	0.6	75.2	77.5	37.8	21.3	16	
	※	搬出入車両走行音（線分番号4-3）	0.6	75.2	72.6	37.2	21.3	17	
	※	搬出入車両走行音（線分番号5-1）	0.6	75.2	68.8	36.8	21.3	17	
	※	搬出入車両走行音（線分番号5-2）	0.6	75.2	66.2	36.4	21.3	18	
	※	搬出入車両走行音（線分番号5-3）	0.6	75.2	63.7	36.1	21.3	18	
	※	搬出入車両走行音（線分番号6-1）	0.6	75.2	69.0	36.8	21.4	17	
	※	搬出入車両走行音（線分番号6-2）	0.6	75.2	66.9	36.5	21.5	17	
	※	搬出入車両走行音（線分番号6-3）	0.6	75.2	65.2	36.3	21.6	17	

変：変動騒音を示す。

B地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
定 常 騒 音	15	室外機15	0.6	58.0	17.9	25.1	-	33	40
	16	室外機16	0.6	58.0	17.3	24.8	-	33	
	29	冷凍冷蔵庫屋外機1	2.1	60.2	15.2	23.6	-	37	
	30	冷凍冷蔵庫屋外機2	2.1	58.9	15.3	23.7	-	35	
	31	冷凍冷蔵庫屋外機3	2.1	58.9	15.6	23.9	-	35	
	32	冷凍冷蔵庫屋外機4	2.1	58.9	16.1	24.1	-	35	
	33	冷凍冷蔵庫屋外機5	2.1	60.2	17.1	24.7	-	36	
	34	冷凍冷蔵庫屋外機6	2.1	60.2	18.6	25.4	-	35	
	60	キュービクル2	1.5	52.9	22.7	27.1	-	26	
変	73	台車走行音	0.0	77.0	69.8	36.9	21.9	18	
衝 撃 騒 音	76	荷下ろし音	0.6	76.8	69.8	36.9	18.3	22	
	79	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.9	69.8	36.9	17.4	24	
	82	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.5	69.8	36.9	18.1	25	
	85	搬出入車両座席扉閉音	0.6	80.1	78.0	37.8	16.3	26	
	88	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.2	78.0	37.8	19.0	23	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号7-1)	0.6	75.2	87.6	38.9	15.5	21	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号7-2)	0.6	75.2	84.5	38.5	16.3	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号7-3)	0.6	75.2	82.2	38.3	23.2	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号8-1)	0.6	75.2	80.7	38.1	24.6	13	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号8-2)	0.6	75.2	79.7	38.0	25.0	12	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号8-3)	0.6	75.2	78.6	37.9	24.5	13	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号9-1)	0.6	75.2	84.6	38.5	23.3	13	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号9-2)	0.5	75.2	91.2	39.2	21.9	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号9-3)	0.4	75.2	97.9	39.8	21.0	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号10-1)	0.4	75.2	104.3	40.4	20.3	15	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号10-2)	0.3	75.2	110.6	40.9	19.7	15	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号10-3)	0.2	75.2	116.9	41.4	19.4	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号11-1)	0.2	75.2	120.0	41.6	19.1	15	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号11-2)	0.2	75.2	119.9	41.6	19.2	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号11-3)	0.1	75.2	120.1	41.6	19.2	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号12-1)	0.1	75.2	121.9	41.7	19.1	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号12-2)	0.2	75.2	124.8	41.9	18.9	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号12-3)	0.3	75.2	127.6	42.1	18.7	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号13-1)	0.2	75.2	117.0	41.4	19.4	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号13-2)	0.2	75.2	110.0	40.8	20.0	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号13-3)	0.4	75.2	103.2	40.3	20.4	15	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号14-1)	0.4	75.2	96.5	39.7	21.2	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号14-2)	0.5	75.2	89.8	39.1	22.2	14	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号14-3)	0.6	75.2	83.2	38.4	23.8	13	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号15-1)	0.6	75.2	80.8	38.1	24.5	13	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号15-2)	0.6	75.2	80.1	38.1	24.7	12	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号15-3)	0.6	75.2	79.9	38.1	24.9	12	

変：変動騒音を示す。

C地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
定 常	25	室外機25	0.6	58.0	23.5	27.4	-	31	40
	26	室外機26	0.9	59.0	24.4	27.7	-	31	
	27	室外機27	0.9	59.0	25.4	28.1	-	31	
変	73	台車走行音	0.0	77.0	79.9	38.1	21.6	17	
衝 撃 騒 音	76	荷下ろし音	0.6	76.8	79.9	38.1	18.0	21	
	79	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.9	79.9	38.1	17.1	23	
	82	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.5	79.9	38.1	17.7	24	
	85	搬出入車両座席扉開閉音	0.6	80.1	84.6	38.5	15.9	26	
	88	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.2	84.6	38.5	18.6	23	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号7-1)	0.6	75.2	101.7	40.1	17.0	18	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号7-2)	0.6	75.2	94.3	39.5	17.0	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号7-3)	0.6	75.2	87.2	38.8	17.0	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号8-1)	0.6	75.2	83.7	38.5	17.0	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号8-2)	0.6	75.2	84.1	38.5	17.0	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号8-3)	0.6	75.2	84.5	38.5	17.1	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号9-1)	0.6	75.2	85.8	38.7	16.9	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号9-2)	0.5	75.2	90.4	39.1	16.6	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号9-3)	0.4	75.2	95.4	39.6	16.5	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号10-1)	0.4	75.2	100.3	40.0	16.4	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号10-2)	0.3	75.2	105.3	40.4	16.2	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号10-3)	0.2	75.2	110.4	40.9	16.0	18	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号11-1)	0.2	75.2	111.4	40.9	15.9	18	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号11-2)	0.2	75.2	108.3	40.7	15.8	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号11-3)	0.1	75.2	105.5	40.5	15.7	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号12-1)	0.1	75.2	105.5	40.5	15.6	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号12-2)	0.2	75.2	108.1	40.7	14.4	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号12-3)	0.3	75.2	110.8	40.9	13.2	21	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号13-1)	0.2	75.2	101.1	40.1	15.7	19	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号13-2)	0.2	75.2	94.9	39.5	16.1	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号13-3)	0.4	75.2	89.0	39.0	16.1	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号14-1)	0.4	75.2	83.2	38.4	16.4	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号14-2)	0.5	75.2	77.7	37.8	16.6	21	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号14-3)	0.6	75.2	72.3	37.2	16.8	21	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号15-1)	0.6	75.2	81.2	38.2	17.0	20	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号15-2)	0.6	75.2	76.5	37.7	17.0	21	
	※	搬出入車両走行音 (線分番号15-3)	0.6	75.2	72.0	37.1	17.0	21	

変：変動騒音を示す。

D地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
変 衝 撃 騒 音	73	台車走行音	0.0	77.0	110.4	40.9	-	36	40
	76	荷下ろし音	0.6	76.8	110.4	40.9	-	36	
	79	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.9	110.4	40.9	-	37	
	82	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.5	110.4	40.9	-	39	
	85	搬出入車両座席扉開閉音	0.6	80.1	103.0	40.3	-	40	
	88	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.2	103.0	40.3	-	40	
	※	搬出入車両走行音(線分番号7-1)	0.6	75.2	90.9	39.2	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号7-2)	0.6	75.2	94.8	39.5	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号7-3)	0.6	75.2	99.2	39.9	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号8-1)	0.6	75.2	102.0	40.2	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号8-2)	0.6	75.2	102.3	40.2	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号8-3)	0.6	75.2	102.7	40.2	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号9-1)	0.6	75.2	98.9	39.9	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号9-2)	0.5	75.2	93.4	39.4	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号9-3)	0.4	75.2	87.9	38.9	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号10-1)	0.4	75.2	82.8	38.4	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号10-2)	0.3	75.2	78.0	37.8	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号10-3)	0.2	75.2	73.5	37.3	-	38	
	※	搬出入車両走行音(線分番号11-1)	0.2	75.2	73.5	37.3	-	38	
	※	搬出入車両走行音(線分番号11-2)	0.2	75.2	78.0	37.8	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号11-3)	0.1	75.2	82.8	38.4	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号12-1)	0.1	75.2	84.4	38.5	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号12-2)	0.2	75.2	82.8	38.4	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号12-3)	0.3	75.2	81.3	38.2	-	37	
	※	搬出入車両走行音(線分番号13-1)	0.2	75.2	87.2	38.8	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号13-2)	0.2	75.2	91.5	39.2	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号13-3)	0.4	75.2	96.0	39.6	-	36	
	※	搬出入車両走行音(線分番号14-1)	0.4	75.2	100.8	40.1	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号14-2)	0.5	75.2	105.7	40.5	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号14-3)	0.6	75.2	110.8	40.9	-	34	
	※	搬出入車両走行音(線分番号15-1)	0.6	75.2	103.6	40.3	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号15-2)	0.6	75.2	107.3	40.6	-	35	
	※	搬出入車両走行音(線分番号15-3)	0.6	75.2	111.3	40.9	-	34	

変:変動騒音を示す。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための、廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
 廃棄物等の排出量予測

廃棄物種別	S：店舗面積 (千㎡)		指 針 原単位	A： 一日当たり 廃棄物排出量 (t)	B： 平均保 管日数 (日)	C： 見かけ 比 重 (t/m ³)	D： 排出予測量 A×B÷C (m ³)
紙製廃棄物等	6千㎡以下	4.189千㎡	0.208	0.871312 t	1日	0.10	8.71m ³
金属製廃棄物等	6千㎡以下	4.189千㎡	0.007	0.029323 t	1日	0.10	0.29m ³
ガラス製廃棄物等	6千㎡以下	4.189千㎡	0.006	0.025134 t	1日	0.10	0.25m ³
プラスチック製 廃棄物等	6千㎡以下	4.189千㎡	0.020	0.083780 t	1日	0.01	8.38m ³
生ゴミ等	6千㎡以下	4.189千㎡	0.169	0.707941 t	1日	0.55	1.29m ³
その他の可燃性 廃棄物等		4.189千㎡	0.054	0.226206 t	1日	0.38	0.60m ³
合 計							19.52m ³

○廃棄物の種類ごとの排出量予測結果

廃棄物種別	D 小売業からの廃棄物等 排出量予測 (m ³)	※E 小売業以外の施設から の廃棄物等排出量予測 (m ³)	F 大規模小売店舗全体の 廃棄物保管容量予測 (D +E) (m ³)	G 大規模小売店舗に設置 される廃棄物等保管容 量 (m ³)
紙製廃棄物等	8.71m ³	0m ³	8.71m ³	25.11m ³
金属製廃棄物等	0.29m ³	0m ³	0.29m ³	
ガラス製廃棄物等	0.25m ³	0m ³	0.25m ³	
プラスチック製廃棄物等	8.38m ³	0m ³	8.38m ³	
生ゴミ等	1.29m ³	0m ³	1.29m ³	17.10m ³
その他の可燃性廃棄物等	0.60m ³	0m ³	0.60m ³	
合 計	19.52m ³	0m ³	19.52m ³	42.21m ³

※E小売業以外の施設からの廃棄物等排出量予測
 該当なし

その他指針で規定する配慮すべき事項について

1 歩行者の通行の利便の確保等について

項 目	具 体 的 な 内 容
歩行者通路確保のための対策	・来店車両が多く見込まれるオープン時や繁忙期には、出入口付近に交通整理員を配置し、横断歩行者の安全を確保する。 - 別添「資料－6 動線計画図（p.37）」参照 ・駐車場出入口付近には、交通事故発生の防止及び横断歩行者の安全確保のため、原則として見通しを妨げる構造物は設置しない。
夜間照明等の設置の有無	有 位置：別添「資料－6 動線計画図（p.37）」参照
その他	・駐車場出入口には、停止線と「STOP」の路面表示を行うことで、帰宅車両の一旦停止を促し、横断歩行者の安全を確保する。 ・荷さばき車両の入庫時において、来店者と出入口が共用である旨を周知し、入出庫時の安全運転を徹底させる。 ・荷さばき車両を入庫させる際には、歩行者及び来店車両との場内交錯を避けるべく、従業員にて安全に誘導を行い、事故の発生防止に努める。 ・商品等の搬出入は、朝・夕の交通量の多い時間帯や来店車両の多い時間帯を極力避けた搬出入計画を立て、待機車両が発生しないよう配慮する。

2 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

予定及び概要	・商品梱包用段ボールや空き缶などは廃棄物と混在しないよう分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。 ・過剰包装、梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。
周辺住民への周知方法	・地元説明会にて周知を図る。

3 防災・防犯対策への協力について

・防災対策への協力

防災協定等締結の有無	締 結 協 定 の 内 容
有・ <u>無</u> (締結先：)	・災害時の避難場所として駐車場等敷地の一部の使用、若しくは、店舗で扱っている物資の緊急時の提供について、行政より要請があれば検討し、協力する。

・防犯対策への協力

概 要
・地元警察と連携し、店舗及び店舗周辺での事件発生時における警察への通報要領及び避難誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。 ・駐車場内には、適切に照明設備を配置することで死角を排除し、青少年のたまり場とならないよう配慮する。 ・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、青少年の蟄集を防止する。 ・店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、店舗内外へ向け設置した防犯カメラなど、万引き防止等の防犯対策を講じる。

4 騒音問題への対応策について

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設は、十分な作業スペースを確保し、計画的な搬出入を行うことで作業時間の短縮に努める。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき作業車両のアイドリングを禁止させるなど（但し、停止することができない保冷車のアイドリングは除く）、作業員への騒音防止の意識を徹底させる。

(2) BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用
(無)・有



使用時間帯	拡声器の数	拡声器の容量	拡声器の配置	具体的な騒音対策の内容
-	-	-	-	-

(3) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

No.	項 目		設置の有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
1	室外機1	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	・低騒音化型の機器を導入する。 ・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機2	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
3	室外機3	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
4	室外機4	RZRP140BY	有	圧縮機出力 2.45kW	54.9	
5	室外機5	RZRP80BYT	有	圧縮機出力 1.70kW	51.2	
6	室外機6	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
7	室外機7	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
8	室外機8	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
9	室外機9	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
10	室外機10	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
11	室外機11	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
12	室外機12	RZRP280BA	有	圧縮機出力 5.95kW	61.8	
13	室外機13	RAS-GP80RSH3	有	圧縮機出力 1.45kW	54.0	
14	室外機14	RAS-GP80RSH3	有	圧縮機出力 1.45kW	54.0	
15	室外機15	RAS-GP140RSH4	有	圧縮機出力 2.95kW	58.0	
16	室外機16	RAS-GP140RSH4	有	圧縮機出力 2.95kW	58.0	
17	室外機17	RAS-GP80LVA	有	圧縮機出力 1.80kW	48.0	
18	室外機18	RAS-GP80LVA	有	圧縮機出力 1.80kW	48.0	
19	室外機19	RAS-GP112LVA	有	圧縮機出力 2.50kW	49.9	
20	室外機20	RAS-GP140LVA	有	圧縮機出力 2.90kW	51.0	
21	室外機21	RAS-GP80RSH3	有	圧縮機出力 1.45kW	54.0	
22	室外機22	RAS-GP80RSH3	有	圧縮機出力 1.45kW	54.0	
23	室外機23	RAS-GP140RSH4	有	圧縮機出力 2.95kW	58.0	
24	室外機24	RAS-GP140RSH4	有	圧縮機出力 2.95kW	58.0	
25	室外機25	RAS-GP140RSH4	有	圧縮機出力 2.95kW	58.0	
26	室外機26	RAS-GP850TZ	有	圧縮機出力(3.55×2+3.04×2+4.44)kW	59.0	
27	室外機27	RAS-GP850TZ	有	圧縮機出力(3.55×2+3.04×2+4.44)kW	59.0	
28	室外機28	RAS-GP670TZ	有	圧縮機出力(3.55×2)×2kW	57.0	
29	冷凍冷蔵車屋外機1	OCU-KS2000MVF	有	圧縮機出力 (7.46+6.00) kW	60.2	
30	冷凍冷蔵車屋外機2	OCU-KS1250VF	有	圧縮機出力 7.46kW	58.9	
31	冷凍冷蔵車屋外機3	OCU-KS1250VF	有	圧縮機出力 7.46kW	58.9	

No.	項 目		設置の 有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
32	冷凍冷蔵車屋外機4	OCU-KS1250VF	有	圧縮機出力 7.46kW	58.9	・大きな騒音がで ない形状を選 択する。
33	冷凍冷蔵車屋外機5	OCU-KS2500MVF	有	圧縮機出力 (9.40+7.46) kW	60.2	
34	冷凍冷蔵車屋外機6	OCU-KS2500MVF	有	圧縮機出力 (9.40+7.46) kW	60.2	
35	排気口1	EF-40DSXC2	有	出力0.200kW	58.9	
36	排気口2	EF-40DSXC2	有	出力0.200kW	58.9	
37	排気口3	EF-40DSXC2	有	出力0.200kW	58.9	
38	排気口4	EF-40DSXC2	有	出力0.200kW	58.9	
39	排気口5	EF-30BSXC2	有	出力0.050kW	51.1	
40	排気口6	S-200SP	有	出力0.015kW	41.0	
41	排気口7	EF-40DSXC2	有	出力0.200kW	58.9	
42	排気口8	EF-30BSXC2	有	出力0.050kW	51.1	
43	排気口9	EF-25ASXC2	有	圧縮機出力0.025kW	45.6	
44	排気口10	VD-23ZB13	有	—	42.0	
45	排気口11	VD-23ZLX13-CS	有	—	41.0	
46	排気口12	BFS-300TUA2	有	出力1.5kW	47.5	
47	排気口13	BFS-300TUA2	有	出力1.5kW	47.5	
48	排気口14	VD-23ZB13	有	—	42.0	
49	排気口15	EF-25ASXC2	有	圧縮機出力0.025kW	45.6	
50	排気口16	EG-40CSXC2	有	出力0.1kW	50.9	
51	排気口17	EG-40CSXC2	有	出力0.1kW	50.9	
52	排気口18	EG-40CSXC2	有	出力0.1kW	50.9	
53	排気口19	BFS-210TUG2	有	出力0.49kW	48.0	
54	排気口20	BFS-210TUG2	有	出力0.49kW	48.0	
55	排気口21	BFS-210TUG2	有	出力0.49kW	48.0	
56	排気口22	BFS-210TUG2	有	出力0.49kW	48.0	
57	排気口23	BFS-210TUG2	有	出力0.49kW	48.0	
58	排気口24	BFS-210TUG2	有	出力0.49kW	48.0	
59	キュービクル1	キュービクルa	有	—	50.6	無
60	キュービクル2	キュービクルb	有	—	52.9	

(4) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし。	・オープン時や繁忙期など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・駐車場内にはアイドリング禁止の旨を記載した看板を設置することで、来店者に注意を呼びかける。

(5) 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設No.1 (建物内)	8:00～18:00	・特になし	・早朝、夜間には回収を行わない。 ・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。 ・業者には騒音抑制の意識を徹底させるとともに、エンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。
廃棄物等保管施設No.2 (建物内)			

5 廃棄物等の運搬や処理及び廃棄物等に関連する対応策について

(1) 廃棄物等の運搬方法等

- ・廃棄物等の運搬は、適正な処理を行うべく一般廃棄物はうるま市許可業者、産業廃棄物は沖縄県許可業者と委託契約を結び、収集、運搬、処分を行います。
- ・廃棄物が大量に生じる時期については、必要に応じて業者に連絡し回収頻度を増やす。

廃棄物種別	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
予定業者等	うるま市許可業者	沖縄県許可業者	沖縄県許可業者
運搬の頻度	1回/1日	1回/1日	1回/1日

廃棄物種別	プラスチック製廃棄物	生ゴミ等	その他の可燃性廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
予定業者等	沖縄県許可業者	うるま市許可業者	うるま市許可業者
運搬の頻度	1回/1日	1回/1日	1回/1日

(2) 敷地内での処理計画の有無 該当なし

(3) 悪臭対策

- ・保管施設は密閉性を確保し、廃棄物等の散乱を防止することで、悪臭を抑制し、衛生上の問題を最小限にする。

(4) 食品加工場等を付設する場合の悪臭を伴う汚水処理について

- ・悪臭の元となる生ごみは、密閉性が確保できる保管施設に収納するとともに、冷蔵設備を設置することで、悪臭が漏出しないように配慮する。
- ・定期的に保管庫を水洗洗浄することにより、悪臭発生防止を図る。

6 街並みづくりへの配慮等

(1) 街並みづくり等への配慮事項 特になし

(2) 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法
14,503m ²	456m ²	・建物敷地北西側境界付近に緑地を行う。 別添「資料-3 平面図兼配置図 (p.33)」参照

(3) 景観への配慮

- ・沖縄県景観形成条例及び沖縄県屋外広告物条例などに基づいた整備を行う。

(4) 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋 外 照 明	広 告 塔 照 明
照明灯の配置	別添「資料-6 動線図」(p.37) 参照	未 定
照明灯の方向	駐車場内下向きに照射	広告塔方向上向き
照 明 の 強 さ	未 定	未 定
点 灯 時 間	日没～夜明けまで	
光 害 対 策	・周辺近隣に対して光害を発生させないよう照明の配置、方向、光源の種類は十分に配慮する。	

届出に添付する図面等について

- ・資料－1 建物位置図（広域図）（p.31）
- ・資料－2 周辺見取図（p.32）
- ・資料－3 平面図兼配置図（p.33）
- ・資料－4. 1 周辺道路状況図（1）（p.34）
- ・資料－4. 2 周辺道路状況図（2）（p.35）
- ・資料－5 案内経路図（p.36）
- ・資料－6 動線計画図（p.37）
- ・資料－7 騒音発生源位置図（p.38）
- ・資料－8 騒音予測地点位置図（p.39）
- ・資料－9 用途地域図（p.40）
- ・資料－10. 1 A棟立面図（p.41）
- ・資料－10. 2 B棟立面図（p.42）

登記簿謄本

- ・J R九州ビルマネジメント株式会社

別冊資料

- ・（仮称）沖縄県うるま市複合店舗開発 交通処理計画報告書
- ・（仮称）沖縄県うるま市複合店舗開発 騒音予測評価報告書